

ワーク名 フレックス大学院シンポジウム／セミナーⅡ

ワーク英語名 International Symposia / Seminars Ⅱ

担当教員:松葉 豪、古川 英光 他

担当教員の所属:大学院有機材料システム研究科・大学院理工学研究科

開講学年:2年 開講学期:通年 単位数:0 開講形態:シンポジウム／セミナー

開講対象:フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 科目区分:必修

【授業概要】

・ テーマ

フレックス大学院において、学生同士が協力して国際シンポジウム/セミナーを企画し開催する。

本ワークⅡでは、フレックス大学院で開催される国際学会(SmaSys)、シンポジウム/セミナー等における企画、立案、および運営を通じて、企画提案力、交渉力、マネジメント力、英語による運営力を身につける。

・到達目標

学生同士が協力し、教員のアドバイスを受けて、国際シンポジウム/セミナーを企画立案し、実施運営する。

・キーワード

グローバル力、企画提案力、交渉力、マネジメント力、英語力、運営力

【科目の位置付け】

本ワークは、国際学会 SmaSys やセミナーの企画運営についてのワークです。

フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院生のための必修ワークであり、創造性および主体性を身につけるためのカリキュラムとして位置付けられています。

【ワーク計画】

・授業の方法:

教員と協力し、シンポジウム/セミナー(国際学会 SmaSys など)の企画立案および実施運営を学生同士で協力し分担して行う。

・内容:

本ワークⅡでは、フレックス大学院において開催される国際シンポジウム(SmaSys)/セミナー等の企画・立案、およびその準備を行うことを内容とします。

【学習の方法】

・受講のあり方:

十分な準備により、良いシンポジウム/セミナーが開催できるので、企画立案段階から積極的に議論に参加し、意見を出して欲しい。

・授業時間外学習へのアドバイス:

シンポジウム/セミナーの時間以外でも、自発的に準備に取り組んで欲しい。

【成績の評価】

・基準:

開催される国際シンポジウム(SmaSys)/セミナーの企画・立案・運営への参加および取り組み姿勢を総合的に評価する。

・方法:

SmaSys(2年次)やセミナー等への取り組みを、各100点満点で採点し、上記平均点で評価する。

・表示:

成績評価をS、A、B、C、Fの標語をもって表し、単位欄には0又は無表示とする。

・時期:

2年次の後期。

【テキスト・参考書】:

なし

【学生へのメッセージ】:

教員と協力し、より良いシンポジウム／セミナーが開催できるよう、積極的に参加・提案して欲しい。

【オフィス・アワー】:

指定なし。